

自治会ニュース 2021年冬号をお届けします

ご挨拶

自治会長 多田 征司

コロナで明けてコロナで暮れる令和2年でしたが、令和3年になってもコロナの感染は収まる気配を見せず、政府は東京都知事などの要請を受けて重い腰を上げ一都三県の緊急事態宣言を1月7日に発出いたしました。

自治会も役員会の中止や総会に代わる書面議決などコロナに振り回されましたが、一斉清掃など何とか自治会としての行事を遂行してきました。また昨年からの課題で2008年以来改修されていなかった王禅寺公園の自治会案内板について、表示を世帯名から番地とし、防食を含む塗装を行いました。

さて、令和に入り幸いにも神奈川県への台風の直撃はありませんが、温暖化の影響で台風の大型化が進んでいます。さらに問題なのは日本近海の海水温上昇です。特に海面下50メートルに及ぶ海水温の上昇により、近海で台風が発生することが多くなり、日本上陸までの時間的余裕が少なくなっています。

令和元年に発生した台風19号（令和元年東日本台風）は大型で強い勢力を保ったまま伊豆半島に上陸しました。台風の接近・通過にともない、西～東日本の広い範囲で大雨・強風となりました。なかでも静岡県や関東甲信越、東北地方ではこれまでに経験したことのないような記録的な大雨が降り、大規模な河川氾濫や土砂災

害に見舞われました。台風15号（令和元年房総半島台風）では千葉県が直撃を受けて河川の洪水はもとより、多くの土砂崩れや家屋の損壊に見舞われました。さらに社会インフラの基盤ともいわれる電力網の多くが被害を受けました。

地震についても震度5前後の地震が日本各地で頻発し、首都圏直下の相模トラフでは三浦方面でのガス臭問題や、四国から関西・中部に至る南海トラフでの地殻の変化など地震の前兆が取りざたされています。災害への準備を怠らないようにとの報道も増え、個々人でも対応が望まれています。

自治会としても防災本部を立ち上げて、防災訓練や設備の充実など対応を進めていますが、会員の皆様も台風や地震など自然災害に対する心構えを強めていただきたいと思います。

災害発生直後は道路や鉄道などの輸送網の損壊により支援物資が届くまで時間がかかることが想定されます。**最低3日分(できれば1週間分)の水と食料**を備えるよういわれています。特に、大規模災害の場合には食品や生活物資が店頭から売り切れるなど、物流機能が低下することや、ライフライン（電気・ガス・水道）が停止することも想定されています。水と食料は、命を守り、英気を養うことにつながりますので、家族全員の3日以上は、必ず備えておきましょう。

水は1日1人当たり3リットル必要だといわれています。余裕を持たせて備蓄していただきたいと思います。

ところで、当自治会における問題点は災害や事故などの発生時に会員皆様の緊急連絡先などの把握が進んでおらず、対応が十分にできないことにあります。近隣の町会・自治会では安否の確認や連絡を目的とした『見守りカード』を導入しているところが多く、当自治会でもコロナの問題で遅れていますが対応を進めていきたいと考えています。対応は会員のご協力なくして不可能であり、その節にはご協力をお願いする次第です。

なお、最近では個々人を対象とした『見守りシステム』が開発され、導入されている方が多くなっていますが、いくつかのシステムを紹介いたします。

1. セコムやアフラックが提供する

『高齢者の見守りサポート』

これらはすでにホームセキュリティを導入されている方にはオプションとして用意されることがあります。仕組みとしては日常よく使われる台所やトイレにセンサーを取り付け、反応の状態によって居住者の異常を検知してサポートを行います。

2. 象印の『見守りホットライン』

通常は電気ポットですが無線通信機を内蔵したiポットを使って、使う都度家族あるいは親族に電源オンや給湯、保温使用状態がメールで届きます。

3. 東京電力の『遠くても安心プラン』

離れて暮らすご家族の生活家電の使用状況を、見守る側の手元のスマートフォンに知らせます。ネットの回線やスマートフォンなどが必要ですが、電気的には分電盤にセンサーを取り付けるだけです。

4. 東京ガスの『自宅・家族の見守りサービス』

窓の開け閉めなどに対応したセンサーを設置して、センサーの変化をスマートフォンなどに送ります。

.....

その他、色々な見守りに関わるサービスが提供されていますので会員の皆様に合ったシステムを検討されると良いと思います。

最後になりますが、コロナは止まることなく感染拡大が続き、1日の感染者が全国で5,000人を超える勢いです。神奈川県でも600人を超えています。病院や買い物などの外出は致し方ありませんが、不要不急の外出を避けるとともに、外出にはマスクを着用し、アルコール除菌や手洗い、うがいなどを心がけていただきたいと思います。

自治会総会（2020年4月開催中止）に代わる 「書面議決」のご報告

新型コロナウイルス感染防止のため、例年4月に実施する自治会総会は中止といたしました。これに代わり、昨年10月に会員の皆様に書面による表決をお願いいたしました。（10月下旬に表決書を配布・11月3日回収）表決にご協力いただきありがとうございました。議決の結果をご報告いたします。

令和元年度(2019年4月~2020年3月) ★ 定数475世帯 (2020/10/1現在)

三井百合ヶ丘第三地区自治会

「総会議案に対する賛否」

	賛成	反対
議案1 (事業報告)	401	0
議案2 (決算報告)	401	0
議案3 (会長・副会長選任)	401	0

すべての議案について会員の過半数の賛成を得ましたので、会則の規定により承認されました。*賛成・反対いずれにも〇のない票(7票)は規定により賛成に算入しました。

書面表決を終えて

表決用紙のコメント欄では、感染防止の観点より多くの方から書面表決への賛意をいただきました。また、表決方法や議案の提示方法につきましても貴重なご意見を承りました。その他いくつかの具体的な要望もいただき、12月度の役員会でその内容を共有いたしました。現行の制度内では対応の難しい課題もありますが、検討が可能なものは今後できる限り推進いたします。経過については当自治会ニュースで適宜ご案内いたします。

NEWS

11月29日 王禅寺公園の一斉清掃を実施しました

新型コロナウイルス感染拡大により防災訓練をはじめとする自治会主催の活動は中止や規模縮小が続きましたが、昨年11月29日(日曜日)、感染防止対策を施して王禅寺公園・冬の一斉清掃を実施しました。毎年この時期に実施する恒例行事です。清掃活動は密になりにくく人が対面して会話する機会も少ないので感染の危険は少ないと判断しましたが、当日はマスク、手指消毒剤を用意して対策を行いました。参加者は142名と昨年を大きく超える多数のご参加をいただきました。毎年の継続した活動の結果、環境はとても良い状態に維持されています。これからもこの活動は継続していく予定です。



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年秋に実施した赤い羽根共同募金は361世帯のご協力をいただき、189,700円が集まり、12月9日に教育・福祉担当役員が県共同募金会に納付いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。

Q&A

会員の皆様から役員会に寄せられた
質問にお答えします

災害時はどこに避難すればよいのですか？

実は、毎年防災訓練を実施している「王禅寺公園」は川崎市の指定避難所ではありません。当自治会の近隣には下記のような指定避難所があります。住居エリア(班)による区分を記載しましたがこれは厳密なものではありません。どの避難所に避難しても大丈夫です。

長沢小学校	1班、6班、7班、9～11班から近いです
王禅寺中央小学校	2班～5班、8班から近いです
南百合丘小学校	13～15班から近いです

● 長沢中学校・日本映画大学白山キャンパス・旧白山中学校・王禅寺中央中学校も指定避難所です。

★災害発生! その時どうする

災害時の避難には2つのパターンがあります。

■ **一時的な避難** 安全確保のために一時的に近くの公園や空き地に避難します。**この時は王禅寺公園、王禅寺北第一公園に来てください。自治会の防災倉庫にはさまざまな防災用具が整備されています** ★王禅寺公園に近い「三井住友銀行百合ヶ丘出張所前」は災害時応急給水拠点に指定されています

■ **倒壊の危険・火災など自宅で生活できない時の避難** 上記のような避難所に避難し一時的に生活をします ★ 避難勧告・緊急避難指示が出ると防災行政無線のスピーカーより60秒間連続・5秒休みのサイレンが鳴ります ★ 避難所が開設されているかどうかはインターネットで「川崎市・防災情報」を検索して「川崎市防災情報ポータル」サイトで確認できます。

➡ スマートフォンをお使いの場合は「**かわさき防災アプリ**」を入れておくとたいへん便利です。最寄りの避難所とその開設状況、自宅から避難所までの経路が表示できます。

■ 「かわさき防災アプリ」

開設している避難所への誘導など災害発生時に必要な情報や、ハザードマップを確認することができます。



iOS 用



Android 用

■ **前回発行以降の転入・転出会員** … 期間内に転入・転出の届け出はありませんでした。

転入・転出や電話番号・世帯主の変更等は班長へご連絡の上、用意されている届出用紙をご記入いただき、書記まで提出をお願いいたします。